

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～

定期学習会の記録

2007/03/03 尾間木公民館

[参加者] 金子 安藤 橋元 北野 福島 大内 三浦

■尾間木公民館利用団体 会議について

3/13(火)13:00～15:00

参加者を検討(保留)

■差別についての学習(北野)

※世界に目を向け、歴史的に、現在までどのような実態になっているのか調べてみる。

○新聞切り抜き(2007/2/1読売新聞より)

○カースト制について

紀元前13世紀より

バラモン・クシャトリア・バイシャ・(下位カースト→)シュードラ・指定カースト
姓をみれば、だいたいわかってしまう。

○国立インド工科大学

受験倍率60倍超、政府の下位カースト出身者優遇政策

○政府の下位優遇策

上位カーストの反発

○インドについて

- ・首都 ニューデリー 32万人
- ・面積 330万km² (日本38万km²)
- ・人口 11億3000万人
- ・人口密度 日本と同じくらい
- ・GDP 世界11位(発展途上国、CO₂排出量多い)
- ・通貨 ルピー 1ルピー約3円
- ・世界的シリコンバレーからオファーを受ける。
(優秀な人材は海外に出ていく)
- ・教育 5・3・4(助成はしっかりしている)

●質問、今後の課題

- ・カースト制や差別がなくなるようにする運動があるのかどうか。
- ・国連など、どのように世界の差別をなくしているのか。

■ ガンジーについてのビデオ（知ってるつもり）

○感想

- ・カースト制の、上位の人たちはどんな気持ちなのだろうか。ガンジーも裕福だったが、同じように思わないのだろうか。
- ・暗黒法に対して、一人で立ち向かっていくところなどが、民衆の心を打ったのではないか。それだけ、人間を信頼して、悪いことは悪いと訴えていったのだろう。
- ・「イギリス人が敵なのではなく、考え方が敵であり、問題が解決すれば必ず良き友となる」「暴力は個人を攻撃するだけだが、非暴力は考え方を攻撃できる」という言葉に感銘を受けた。現在にも通ずるところがあるように思える。
- ・命の危険もあるのに、自分だけでもと行動に移すところがすごいと思った。人を人とも思っていないところなど、いじめ問題とも同じような印象を持った。
- ・勇気って、一人でもできるものが、本当の勇気なんだと思った。
- ・誰かがやったあと、ついていくのも、勇気のいることだ。
- ・思ったことを行動に移せる人が、歴史を作っていくのだろう。歴史上に、そういう人がいたことに感謝。意志の力は地球よりも重い、愛の深さは太平洋よりも深い。人の気持ちというのは、ものすごいエネルギーを発することができるものだ。
- ・今の国に必要なことは何か、インドの独立が必要だと感じて、国民のために、世界の貧しい人に対して一生懸命やる、などの目標を持って活動したから、力が出たのだろうと思う。

■ 国際教育について（金子）

- ・現地研修をしませんか。
 - ・以前は、広尾や平和資料館に行ったことがある。
 - ・JICA地球広場
 - ・さいたま市国際交流協会　ぶらっとサロン
- ・5月の連休中などで調整の方向で。

□ 次回の予定

3月17日（土）

- ・カースト制について、学習を深める。
- ・南アフリカのアパルトヘイトについて。
- ・中国には、差別があるのか、ないのか。